

2021年度活動報告書

(1/3)

年度計画

21.5.10
岡山県オリエンテーリング協会

(1/2)

22.5.15 岡山県オリエンテーリング協会
年度実績

1. 計画概要

別紙21年度活動計画要旨による。

別紙21年度活動報告まとめ参照。

2. 会議体

(1). 総会の開催

・今年度も昨年同様理事会結果を事後報告で代用する。

予定通りの形で実施
結果今年度も対話の機会が設けられなかった。

(2). 理事会の開催

・5月と10月に議題書類をメールで送付し意見、了解を求める形にする。

予定通りの形で実施
結果対話の機会が減少した。。

(3). 県レク関係

・2年任期2年目のため、引き続き理事佐藤、評議員濱上が務める。

9月一般社団法人に移行し佐藤は理事、普及委員に就任した。

3. 主催・主管イベント

基本スタンス

初心者に配慮したイベントであるとともに、経験者にも満足してもらえる大会を志向し、ホスピタリティある愛好者を育て、かつ会員の資質向上を図りスムーズな世代交代を促進する。

(1). オリエンテーリング大会の開催

- ・第39回笠岡市O大会(白石島) 4月25日(日)で進めていたが中止(延期)
- ・令和3年度岡山県民O大会(県健康の森) 11月14日(日) 新見市神郷 県健康の森管理センター
昨年同様兼新見市民大会として健康の森利用促進協議会主催、主管県協会として運営する(無料猪汁提供)
- ・令和3年度岡山県民O大会(由加山) 2月6日(日) 倉敷市児島由加 倉敷市琴浦北小学校
- ・令和3年度岡山県民O大会(吉備高原) 3月13日(日) 吉備中央町吉川 国立吉備青少年自然の家

- ・中止
- ・個人52名、Gr5組15名(前年個人31Gr7組6)、運営11名
昨年同様無料猪汁提供。競技可能エリアが狭くなった。
- ・個人43名、Gr8組19名(前年個人72Gr11組27)、運営7名
インカレと重なり参加者減。日程変更すべきだった。
- ・個人63名、Gr10組26名(前年個人20Gr6組15)、運営9名
全日本リレー予定と重なり3/6に変更した。
- ・いずれも見送った。

岡山県民パ - クO大会(吉備中央公園)と同(福田公園) は一般者の利用が多いため、今年度見合わせる。ただし、コロナ状況の劇的変化で問題なく開催できるようになれば、いずれかのパークO実施を検討する。いずれも日程は関係先と調整して決定したものである。

市教委判断で中止した
予定通り実施できた。
由加山スタッフ数少でHP写真撮影ができなかった。
計画通りの内容で運用

第39回笠岡市大会(白石島)は令和4年4月24日(日)で予定する。
練習会(大会前日にコントロール設置等の準備をする場合で準備完了後)は従来通り試走を兼ねて行う。
なお、スタッフが足りて運営に差し支えない場合、当日の試走も行えるよう考慮する。
大会参加費について前年度より一律200円値上げし補充原資確保につなぐ。なお前年同様早割運用をする。

(2). その他イベントの開催

・講習会、研修会関係は例年大会開催を避けた日程(6月～9月)にしているが今年度も中止する。
ただし、基本技術教室は2年連続見送っており、ニーズは十分あるので来年度は必ず実施することで予定。

実施しなかった。

4. 協力イベント

基本スタンス

オリエンテーリングの普及推進を図り、スポーツ振興に寄与するため労を惜みず随時対応する。

(1). 県レクイベント

・スポレクINOKAYAMAは昨年度中止になったが、今年度も同様と見込まれ参加見送り。

(2). その他イベント

・医療福祉関係の職員研修オリエンテーリング、初心者講座、地図読み講座、白石島トレラン運営など、実施の依頼があれば対応するが、今年度はないと思われる。

どの団体も実施する状況ではなかったようである

イベント自体も中止になった

いずれも見送りで依頼なし

5. その他の取り組み

(1). Omapの作成整備

・県健康の森、由加山、吉備高原、白石島ともコース設定時に調査修正を行う。(いずれも2~4日程度)

ただし、白石島は現地植生をOmapに合わせるスタンスで修正する。

また県健康の森は昨年同様利用促進協議会が一部山中の熊笹整備をしてくれる予定。

・吉備高原は国少が灌木の整備をしてくれることが期待されるので状況を見ながら修正する。

・福田公園はリニューアル状況を見ながら調査修正を始める。(述べ2日程度)

・操山の整備は、引き続き他の負荷を勘案しながら実施を前提に検討する。

・新見健康の森に複数のパーマメントコースを作りたい地元意向があるので相談に乗りながら実現させたい。

・閑谷学校のパーマメントコース整備は施設と打ち合わせして具体化し進める。

健康の森、由加山は3回、吉備高原は2回実施
(マーキング含む)

健康の森はある程度整備してくれたが新たな制約も発生
吉備高原は国少に整備を要請したがダメだった。
実施せず(リニューアル完は22年12/20予定)
着手できなかった。
進展せず
1回調査したのみに終わった。

(2). 全日本リレー大会への選手派遣(12/5三重県)

・連合チームおよびふるさと登録者を含めた編成も考慮しME、MS、XJの派遣を目指す。

再々延期で6/12になった

(3). ねんりんピック岐阜2021への選手派遣(10/29~10/31)

・県代表、岡山市代表ともチーム編成して派遣できるようにしたい。

双方の編成ができない場合は県代表のみ、もしくは合同チームの編成となる。

(2/2)

合同チームを推薦できたが中止になった

(4). 助成団体への助成申請

・昨年同様、JOAと岡山県レクリエーション協会への助成申請を行う(いずれも3万円の見込み)。

・いずれも助成済

(5). 競技者登録

・従来同様推進する。

大会開催時、参加者に全日本リレーへの参加を含め積極的に働きかけたい。

・前年比3増の17名登録

(6). ディレクタ、インストラクタ更新登録

・引き続き県協会が更新手続きを行う。

いよいよ今年度からディレクタが(公財)日本スポーツ協会のコーチ制度移行の講習会が始まる。

有資格者に働きかけるが、従来登録費用から還元があったがなくなると見込まれ収入減となる見込み。

・D1級1名、D2級2名、インストラクタ5名登録
(前年比増減なし)
JSPOの新設コーチへの移行者は無し。

(7). スポーツ安全保険加入について

・引き続き希望者による団体加盟を継続する。(掛け金個人負担)

・13名加入(前年比1名増)

(8).その他

- ・会員名簿の維持管理
母体となる競技者登録者、認定指導者登録者の維持に努める。大会参加者に積極的に加入をアプローチする。
- ・資産の維持管理
EMIT関連を主体とした適正な維持、および地図データ主体に確実な保全。E-Cardは昨年度未補充のため今年度は未補充分を含めて補充する。
- ・情報収集と活用
JOAおよびFB、OrienterML等各種サイトからの随時収集と効果的な反映。
- ・ホームページとMLの運用
従来どおり運用する。
- ・理事会および総会の活性化
多くの出席者で新たなイベントの仕掛け、改善など知恵を出し合い、活性化につながる場とする。
- ・岡山大学OLクラブへの各種支援
可能な限りの支援を行いたいという睡眠のようである。
- ・イベント等の広報活動
従来同様メディア(記者クラブ含む)、行政(行政サイトおよび広報誌等)の活用、一般へのチラシ広報等の実施。引き続き過去の参加者に対しメールでの案内を積極的に繰り返し行ってみる。
- ・大会およびその他の主催・主管イベントならびに協力イベントについて
引き続き「岡山県オリエンテリング協会関係の大会・イベントの取り扱い」に基づき運用する。

・競技者登録者、認定指導者、一般会員含めた会員総数は23名（前年比4増1減）
・継続中
6割キャンペーンに伴いE-Card75枚、C/Yunit30枚交換した。
・継続中

・継続中

・会議の場を設けられず停滞

・今年度も動きが全くなく支援のしようがない状態

・従来通りで継続

ローカルではFMくらしき出演(1/20)、おかやまスポーツナビ、くらしきスポーツナビ、山陽新聞情報広場への都度の投稿。全国的にはorientering.com、森を走ろう、JOYへの都度の投稿。FB、ツイッターで投稿もやればさらに効果的と思われるがしていない。メールでの過去の参加者への呼びかけは都度実施したがかなり効果あったと判断している。

・調査継続中

・調査継続中

・調査継続中

・調査継続中

・調査継続中

7名から注文があり上着長袖と半袖各2着予備含め発注済(会員2割補助、ふるさと登録者1割補助)

この項はいずれも進展なし

コロナ禍が収まらないと実施は難しい

世代交代のソフトランディングには待ったなしだがコロナ禍で参加者は増えつつあるが

(9).検討課題

- 次世代につながる各種リソース活用の為以下を重点的に検討し来年度以降の導入につなぎたい。
なお、会員の皆様も良い情報等あればひ提言願いたい。
- ・みちびき対応のGPSロガーによるより効率的な調査方法の見極め
- ・OCADのバージョンアップによる新機能の活用方法
スケッチレイヤとか、下絵にグーグル・マップの航空写真を自動で座標合わせして取り込む機能とか
- ・Condesとかの地図ソフトと使用方法
- ・NaviTabiアプリを使用しての練習会、パークOの開催など
- ・FB、twitter、youtyubeなど新規広報ツールの検討
- ・競技用ユニフォームの追加製作検討

(10).懸案事項(覚え)

- ・以前から白石島でのストリート(街中)スプリントイベントの要望がよくある。
23年4月の第40回大会記念で2日間大会として前日開催することが考えられる。(地元と調整する必要がある)
- ・執行体制(役員、運営分担等)と基本スタンスについて意見交換を行い試行したい。(特に大会準備、広報～運営)
- ・主催・主管イベントに基本スタンスを設けて長年取り組んできたが、なかなか成果につながらない。
開催頻度、その質の追求に加え、イベント後を含め「仲間づくり」の視点が不足しているのかもしれない。
以前課題として取り組み始めた「アフタケア」の問題も人手不足などからおそれるようになってしまっている。
フィニッシュ後の特に初心者レベルの参加者に感想を聞いて相談に乗ったりするフリーのスタッフもおれば次回につながる妙手になる可能性がある。ナビゲームをアレンジしてそのようなアフタケア体験の場にするようなやり方もあるかもしれない。またNaviTabiアプリを利用した練習会なども考えられる

以上